

四 一 受信 一三〇五 歸了 一三一五 電 〇〇三〇〇 航作 本概 〇  
作戰緊急



● 小 崗 山 司 令 部  
● 第五基地航空部隊、台灣方面飛行機配備基地。  
● 第五基地航空部隊作戰命令着信處所  
機密 第〇一〇一〇五番電

五 FCB 電令作 第三二號

- 一 零戰特攻隊ハ本朝〇七三〇地點 <sup>PC</sup> ネヤニシニテ敵航空母艦三ヲ捕捉  
攻撃ニ成功セルモノノ如シ
- 二 艦爆特攻隊 (彗星四直掩零戰四) 及銀河特攻隊 (銀河二機直掩護零  
戰四機) ハ速ニ發進此ノ敵ヲ擊滅スベシ。

通三四五 於十五 (一一三四七、五K) (五FCB放 神山(雨 谷)

4~1

四 一 受信 一九八二五

譯了二二三五

電 〇〇〇六〇五

航作 本

鹿屋航空基地

博多空・横濱航空基地



機密第〇一一〇五五番電

二分ノ二

八〇一部隊信電令作第四六號

一、現在迄判明セル敵情一日〇〇〇〇沖永良部島附近空母二隻ヲ含む

敵機動部隊ヲ發見〇七二〇敵艦送船約五十隻上陸用舟艇約二十隻

ヲ以テ沖繩島南東岸湊川沖ヨリ上陸開始

二、昨夜ノ攻勢成果不詳

三、本一日晝間ハ偵察位ニ駐攻攻勢戦況ニ依リ今夜夜間兩攻勢進行

ルル豫定

通〇〇五五回

口一七七(七六〇五七)鹿屋空 菅原才(日)

四 在託問飛行機作戦可動全力一九〇〇以後迄夜間戒三〇分間待機ト  
ナレ  
五 瑞憲隊既令ノ攻撃ヲ實施スベシ

四 一 受信 一八二九  
一 九一〇  
〇〇〇〇  
四七九

作戦緊急

第一機動基地航空部隊戦機着信場所・鹿屋空基地  
第七基地航空部隊作戦命令着信場所

h/r

機密第一〇一〇四四番電二分ノ三

七〇六空司令

- 一 一〇〇〇迄ニ陸攻ニ機降着二機以上他基地ニ歸投ノ見込ナリ
- 二 現在迄ニ判明セル戦果
  - (一) 陸攻隊〇四二〇ヨリ〇四五〇頃迄此ノ間ニ攻撃決行大型輸送船一轟沈地點トホ一ア
  - 戦艦一ニ對シ命中難實地點トホ四セ
  - 其ノ他炎上中ノ輸送船ニヲ認ム
  - 地點トホ一ア附近輸送船ヲ中心トナル輪形陣約三〇隻ニ群

4~1

通五三六・五四〇・ロ一Bケ七(九八三〇)佐二故  
林・菅原(鈴) 三

卜水五ノ附近大部隊被隊攻撃中炎上二隻ヲ認ム  
 各機共夜戰ノ迫隣ヲ受ク  
 (二) 錦河隊戰果後報  
 三四月一日使用可能機一式陸攻二機二組  
 四各基地完成豫定不時着機ノ狀況急報アリ度。

昭和四年四月貳日

四一 受信一〇四三八 開丁一〇五二二 電〇〇二四二 作概〇  
 開始一〇四三八

作戰緊急

● 沖繩方面根



● 天一號作戰部隊

機密第〇一〇九五八番電

神山島敵二〇艇級加農砲六門小隊基地射撃開始〇九四七。

通二六四 於十四(九八三〇K) 佐二放 宮崎(雨谷)



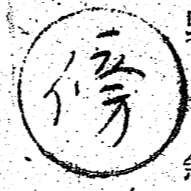
4~1 2200

四一 受信一三〇〇九 了 一四五〇 電〇〇三三三

潜作機艦〇

昭和廿年四月五日

緊急



沖繩根 六艦隊 戸

共

符

機密第一〇九五三番電

沖根信電令第一號

潜水艦及同天特別攻撃隊ノ機密發揚上敵艦艇ノ動靜並ニシウセイ(出  
現)場所時刻航行又ハ漂泊狀態退却方向退却概略ノ位置等(詳細)  
? ? ? 簡單ナル暗號書ニテ直接關係ノ向ニ速報スベシ

通三〇九 天二日ケ六(九八三〇)佐二通放 坂本(河田)

4-1

四 一 受信一〇三五〇五 譯了二一〇二 電〇〇二五九 航作機本〇

作機特別緊急



機密第一〇九一二番電

一 K P G B 天信電令作第十號

二 一 部隊ハ準備出來次第發進德之島北端ヲ中心トシテハ半徑一〇哩圈内ヲ搜索スベシ

三 二 一 〇 部隊 六 〇 一 部隊 七 二 一 部隊 戰艦隊ハ二 〇 〇 〇 以後改號三 〇 分間待機トナセ。

通二八〇 於一五(七八九) 五 IC(一K P G B) 放(山本) 有(田)

6200

4~1

通二六六 於一五(九八三〇) 佐二放 富田(杉本)

方位三〇〇度二三〇軒ヨリ二四五軒間ニ無數ノ反射<sup>(波)</sup>アリ水上艦艇ラシキモノヲ含ム二十六日以來此ノ附近ニ空母ラシキモノ輻射ナリ。

機密第一〇九〇〇番電



佐領區敵情着信艦所

南大東島派遣隊

作戰特別緊急

四 一 受信一〇〇一 譯了 一〇三〇 電〇〇二四五 作 概

Handwritten notes and stamps on the reverse side of the page, including a large circular stamp at the top and various illegible markings.

4~1

作戰緊急

開始一三五〇

大島防備隊

電〇〇〇八二二  
連作機本〇



佐鎮・七號輸送艦  
沖根

機密第一〇八五五番電

二分ノ二

貴機密第三〇一八〇五番電關聯

當方揚塔計置左ノ通り

一、揚塔點

(4) 岸 (平松山ノ二八〇度七〇〇米 二噸マキグレインアリ) 第

一七一輸送艦横附及他一隻艦首繫泊

(ロ) 防備隊岸壁 (三噸マキグレインアリ) 一隻艦首繫泊

(イ) サツ河灣橋 (千浦山ノ二六七度九三〇米) 一隻艦首繫泊

通三三八 於一五 (九八三〇度) 佐二放 (杉本)



三 使用艇大發五漁船六圓平船三作業員七〇〇名  
 三 水路嚮導大東島灣入港船舶ニ對シテハピワノ崎附近ヨリ其ノ他ハ介  
 四 外ハ乙崎東方海面ニテ敷設ノ後泊地迄嚮導ス。



昭和十一年四月貳日

四 一 受信 一〇三二 了 一〇四三 電 〇〇二四三 作 〇

作戰特別緊急

○ 石垣 航空 基地

**傍**

○ 小岡山司令部

「通報表示」廣屋航空基地

機密 〇一〇八四三番電

○七三〇地點「ネヤニシ」盤母三隻 〇八四二

4~1

洞二五回 於十五（七八七五回）「E P G B」放（宮崎）（雨谷）

四一 受信 〇〇九一〇〇 了 〇九一五 電 〇〇一七三 作 機 〇

作戰特別緊急

● 沖繩 方 匪 根 了



● 天一號 作戰部隊

機密 第 〇一〇八二六 番 電

沖繩島南東岸 渡川 沖敵艦 送船 約 五〇隻 〇七二〇ヨリ 上陸用 舟艇 約 二〇

隻ヲ 以テ 上陸ヲ 開始ス 〇八二六。

通二二三 於十四 (九八三〇K) 佐二叔 望月 (雨谷)

4~1



機密第〇一〇八三六番電

一、敵ハ本朝來北飛行場及本島南端東部濠川ニ對シ上陸ヲ開始セリ  
 二、貴機密第三一一三一四番電ノ如ク敵ノ陸上基地獲得スルニ先ダ  
 ナ速ニ母艦群ヲ撃滅スルハ本作戦ノ要訣ナリト思考セラル  
 御成功ヲ切ニ期待ス。

通二四五 於一四(九八三〇)佐二放 宮崎(吉田)

4~1

開始 00 九 〇 二

作戰特別緊急

● 沖繩方面根



● 天一陸作戦部隊

機密第〇一〇八〇四番電

一 那覇沖敵輸送船約六〇隻ヨリ水陸兩用戦車多數ヲ以テ北飛行場  
 方面ニ上陸ヲ開始中 ○八〇〇

二 北飛行場上陸豫想點ニ對スル艦砲射撃ハ熾烈ヲ極メツツアリ尙  
 朝來飛行場ヲ銃爆撃活潑ナリ ○八〇〇

通二二三

於十四 (九八三〇KG) 佐二放

清水(土谷)



4-1

作戦特別緊急

開始〇五〇〇  
〇六〇〇  
〇〇一六〇  
作機〇



聯合艦隊口。天二聯作戦部隊。沖縄方面根

機密第〇一〇四二六番電

發 大和田通信隊司令

沖縄方面策動部隊内通信係ニ於テ今朝〇三四七ヨリ戦術呼出符號ヲ  
使用シ始メカリ

右ハ硫黄島上陸直前(約三時間)ニ酷似シアリテ今朝本格的ニ上陸  
ヲ決行スル算極メテ大ナリ。

通一五八

呂一〇( B ) 大和田

高田(土谷)

4~1

● 鹿屋航空基地  
● 了〇八五〇 電〇〇一八七  
● 製作 本概〇



機密第〇一〇一〇七番電

一KFGB天電令作第八號

七二一部隊在鹿屋櫻花隊、黎明神繩周邊ノ敵艦群ヲ攻撃スベシ。

通一六 呂一B夕七、三九三七、五K(一KFGB放石毛(雨谷)

4~1

四 一 受領 〇〇三四七 丁 〇三四五 電 〇〇一〇三 作 概 〇



● 鹿屋 航空 基地  
● 小祿 航空 基地

機密第 〇一〇〇一三番電 二分ノ一

中飛行場西方一線 (B) 三重巡四輕巡二 (A) 糸滿西方一線 (重巡一輕巡一)  
ト合同一九〇〇當地ノ三三〇度方向ニテ視界外ニ去ル針路二九〇  
度糸滿南東一線 (〇一〇一五五) (モ二五〇度、一八〇度方向視界外  
ニ去ル。

〔電言〕 本電二分ノ二未着

通一一八 於一五 (三九三七、五K) (一KFGB放) 安彦 (青田)